

## ○プログラム（コース）名：糖尿病専門医コース

### ○プログラムの概要

糖尿病はありふれた疾患ですが、本態は複雑な全身疾患であり適切な治療を行うには広範な専門知識と経験が要求されます。今、糖尿病患者数の急速な増大とその合併症による患者自身の損失のみならず社会的な損失も注目され、糖尿病専門医の不足が問題となっています。当科では、10年以上の臨床経験を有する上記指導医の診療グループの一員として診療に参加し臨床経験を積み、教授回診・症例検討会などによる研鑽を通じ糖尿病専門医を養成します。また、臨床研究、基礎研究を通じて学位取得も目指します。

一方、内分泌疾患は甲状腺を除き比較的まれな疾患で、経験の少ない他科のDrには近づき難い専門性の高い疾患群ともいえます。当院は大学病院であることから一般病院に比べ紹介等により内分泌疾患も集まりやすく、その臨床経験を通じて内分泌関連疾患にも対応できるスペシャリストとしての糖尿病・代謝・内分泌を専門とする医師の育成を目指しています。

当科は、臓器別診療体制をとるとの大学の方針のもとに平成18年1月に内科第三講座(第三内科)から診療科としての糖尿病・内分泌・代謝内科に分かれた経緯を有しますが、大学職員としては上記指導医の所属に見られるように内科第三講座の一員です。同様に第三内科から診療科として分かれた神経内科、リウマチ膠原病内科、アレルギー喘息内科、血液内科の一部と現在でも医局、病棟とも共通で(神経内科病棟だけは別ですが)、共通の症例検討会、秒読会も毎週行っており、それぞれの診療科の検討会にも出入り自由で、専門性の枠に止まらず幅広く内科疾患の研鑽を積むことも可能です。

### ○年度毎の研修内容

専門研修開始時には、日本内科学会、日本糖尿病学会、日本内分泌学会に入会していただきます。認定医、専門医の資格を取得する条件の一つとして学会加入年数が求められますので、なるべく早期の学会入会をお勧めします。

#### 後期臨床研修1年目(卒後3年目)

本院(西新宿)で上記指導医の主治医グループの一員として入院患者を受け持ち、診療に当たります。毎週教授回診、症例検討会を行います。

毎週火曜日に内科第三講座全体の症例検討会と秒読会があります。

希望があれば、他科研修も考慮します。

#### 後期臨床研修2年目(卒後4年目)

一般臨床内科医としての臨床経験を積むために、関連病院に1年程度出向します。

#### 後期臨床研修3年目(卒後5年目)

3年目以降は希望に応じて研修内容が異なります。

臨床を中心としたい方は、主治医グループの一員として臨床経験を積み最短で卒後6年目に糖尿病専門医を取得できます。

希望があれば、国内および国外留学も考慮します。

基礎研究に興味のある方は大学院に進学し研究を行い、学位取得を目指します。

### ○取得できる資格

日本内科学会認定内科医、日本内科学会認定内科専門医

糖尿病専門医(日本糖尿病学会)

日本内分泌学会内分泌代謝科(内科)専門医

甲状腺専門医

### ○処遇・待遇

東京医大病院での後期臨床研修3年間は、月額20万円が支給されます。当直を行った場合には1回につき9800円が支給されます。

週1日(半日ずつであれば2日)の院外勤務が可能です。これに対する給与は勤務先から支給されます。

出向中の給与は、出向先の病院から支給されます。

健康保険、厚生年金、労災保険に加入します。

後期臨床研修4年目以降(卒後6年以降)の待遇に関しては、病院の規定に従います。